ARIB NEWS

一般社団法人 電波産業会
Association of Radio Industries and Businesses

No.997 2015 年 10 月 13 日

１０月は「受信環境クリーン月間」です

受信環境クリーン中央協議会では、例年 10 月 1 日から 10 月 31 日までの間を「受信環境クリーン月間」と定め、放送電波の受信障害の防止に向けた活動を集中的に展開しています。会員の皆様も電波障害の防止になお一層のご協力をお願いします（詳細は ARIB ニュース No.994 2015 年 9 月 14 日を参照ください）。

ARIBの動き

CEATEC JAPAN 2015 に出展

10 月 7 日（水）から 10 日（土）まで、CEATEC JAPAN 2015 が幕張メッセで開催され、当会もライフ＆ソサエティステージにブースを設けて広報普及活動を行いました。

このイベントは最先端の ICT・エレクトロニクス総合展として注目度が高く、本年は 531 社・団体（2014 年：547 社・団体）が参加し、ARIB ブースには約 1000 名の方にご来訪を頂きました。

CEATEC JAPAN 2015　ARIB ブースの様子

当会のブースでは、以下の出展、紹介を行いました。

(1) ARIB の概要、研究開発活動、国際協力活動について、パネル展示による紹介

(2) ARIB 設立以降 20 年間の「電波産業分野のあゆみ」について、年表パネルによる紹介

(3) 第 26 回電波功績賞を受賞した技術やシステムについて、動画、スライドショー、デモ展示による紹介

また、10 月 7 日に幕張メッセ国際会議場で開催した ARIB セミナーには、100 名を超えるご参加を賜り、「通信放送分野における新技術標準化の動向」と題して当会の菅原企画国際部長が講演を行いました。

ARIB ブースへのご来場及びセミナーへのご参加に心より感謝申し上げます。

CEATEC JAPAN 2015　ARIB セミナーの様子

ARIB セミナーで挨拶する森山理事

ARIB セミナーで講演する菅原部長

第５世代移動通信システム国際ワークショップ 2015 を開催

世界の各地域において、2020 年及びそれ以降を目標とした第 5 世代移動通信システムに関する調査研究が活発に行われています。第 5 世代移動通信システムには、医療、教育のような様々な分野における社会経済的見地から、超高速・超大容量データを利用する、全く新しいモバイルサービスの導入が期待されています。

このような中、10 月 8 日（木）、千葉・幕張メッセ国際会議場にて、CEATEC JAPAN 2015 コンファレンスのプログラムとして、総務省主催、ITU と第 5 世代モバイル推進フォーラム(5GMF)共催による「第 5 世代移動通信システム国際ワークショップ 2015」が開催されました。

今回は、昨年の第 1 回に引き続き、2020 年以降の実用化を目指す第 5 世代移動通信システム（5G）に関する第 2 回国際ワークショップを開催しました。本ワークショップには、昨年同様に欧米中韓日の 5G 関連の団体、国際標準化機関の代表者をお招きし、活動の最新状況等のご講演や 5G 実現のための課題等についてのパネルディスカッションが行われました。

第 5 世代移動通信システム国際ワークショップ 2015 の様子

開会にあたり、総務省の福岡 徹 総合通信基盤局長、ITU-R の Colin Langtry 研究委員会担当部長からご挨拶をいただいた後、本ワークショップ組織委員会の吉田 進委員長（京都大学特任教授・名誉教授）から基調講演が行われました。それに続いて、ITU-R WP5D の Håkan Ohlsén 副議長から「5G に向けた IMT-2020 についての ITU-R の活動の最新状況」、米国 4G Americas の Chris Pearson 議長は米国から電話会議により参加し「4G アメリカのビジョン」、欧州 5G インフラストラクチャー協会理事会の Werner Mohr 議長から「5GPPP の研究プログラムについて」、中国　IMT-2020 プロモーショングループの Zhiqin Wang 副議長から「中国における 5G の研究状況について」、韓国 5G フォーラム運営委員会の Youngnam Han 委員長から「5G のロードマップ」、5GMF 企画委員会の森川 博之委員長（東京大学教授）から「2020

年以降を見据えた日本における 5GMF の活動について」の演題で有意義なご講演が行われました。各講演では昨年と比較し、更に検討が進んだ最新状況の説明があり、興味深い内容でした。

総務省
総合通信基盤局長
福岡　徹　氏

ITU-R　研究委員会
担当部長
Colin Langtry　氏

ワークショップ組織委員会委員長
京都大学　特任教授・名誉教授
吉田　進　氏

ITU-R WP5D
副議長
Håkan Ohlsén　氏

4G Americas
議長
Chris Pearson 氏

5G インフラストラクチャー協会
理事会議長
Werner Mohr 氏

IMT-2020 プロモーション
グループ　副議長
Zhiqin　Wang 氏

韓国 5G フォーラム
運営委員会委員長
Youngnam Han 氏

5GMF 企画委員会
委員長　東京大学教授
森川　博之　氏

続いて、パネルディスカッションを開催し、海外からご講演をいただいた皆さまに加え、5GMF 技術委員会 三瓶 政一委員長（大阪大学 教授）と 5GMF ネットワーク委員会 川村 龍太郎委員長代理（NTT 未来ねっと研究所 所長）をパネリストに迎え、日本経済新聞社の関口和一 論説委員がモデレータを務め、第 5 世代移動通信を実現するための実証試験等の課題や通信業界以外の産業界との連携、一般の方々へも 5G への関心を高める方法等について、熱心な意見交換が行われました。

当日は約 500 名の方々にご来場いただき、大盛況のうちに終了いたしました。

パネルディスカッションの様子

今週の ARIB 内会合（10 月 12 日～10 月 16 日）

10 月 13 日（火）デジタル放送システム開発部会　デジタル受信機作業班

10 月 14 日（火）デジタル放送システム開発部会　データ放送方式作業班

10 月 14 日（水）第 221 回業務委員会

10 月 14 日（水）電磁環境委員会　ホームページ作業班

10 月 14 日（水）電波環境協議会　医療作業部会

10 月 15 日（木）デジタル放送システム開発部会　超高精細度 TV 放送受信機 TG

今週の国際会合（10 月 12 日～10 月 16 日）

参加を予定している会合はありません。

総務省からのお知らせ

無線局（基幹放送局を除く。）の開設の根本的基準の一部を改正する省令案等に係る意見募集

- 特定実験試験局により使用可能な周波数を拡大するための制度整備 -

【平成 27 年 10 月 2 日発表】

総務省は、特定実験試験局により使用可能な周波数を拡大するための制度整備を行うため、無線局（基幹放送局を除く。）の開設の根本的基準等の一部改正案を作成しました。

つきましては、本改正案について、平成 27 年 10 月 3 日（土）から同年 11 月 2 日（月）までの間、意見を募集しています。

詳細については【平成 27 年 10 月 2 日の総務省報道資料】をご覧ください。

編集後記

10 月 8 日(木)に幕張メッセで開催された CEATEC JAPAN 2015 に事務局要員として行ってきましたが、小生が行く日はなぜかよく台風が近づいてきます。

特にひどかったのが、2009 年 10 月 8 日(木)の台風 18 号が東京に上陸した時で、交通機関が壊滅状態でした。京葉線はすでに止まっていたので新宿から総武線で向かったものの、秋葉原から先が運転中止となったため、山手線に乗り換えて上野に向いましたが御徒町でまたもや運転中止。仕方なく上野まで歩いて、まだ動いている京成電鉄に乗り幕張本郷まで行きバスに乗り換えて、ようやく 11 時頃会場に着くことができました。結局その日は午後 1 時からの開場に変更になりました。

昨年も、設営日の 10 月 6 日(月)に台風 18 号が静岡県に上陸し、鉄道や高速道路が一部通行止めになったため、会場に行くのに苦労しました。

今年は、設営日の 10 月 6 日(火)に台風 23 号が近づいてきて少々風が強かったですが、幸いにして影響はありませんでした。

(編集子：bsj)

ARIB
Association of Radio Industries and Businesses
ARIB NEWS 発行所 一般社団法人 電波産業会
〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
http://www.arib.or.jp E-mail arib_news@arib.or.jp